

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティブスペースみらい万倍店		
○保護者評価実施期間	R6年10月1日		R6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R6年11月1日		R6年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・楽しく通所できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のトレーニング内容はもちろん、長時間の利用でも楽しく、飽きずに過ごせるようにしています。 ・可能な限り、利用者の「やりたい」気持ちに応え、さまざまな経験ができるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの充実や、内容を工夫し、同じ活動でも変化をもたせるようにする。
2	利用者同士が仲が良く、良い関わりができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになっても、お互いに思ったことを言い合えるようにしており、すぐに解決できるよう仲立ちをしています。 ・また振り返りも大切にしており、自分の言動を振り返れるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢関係なく、楽しめる活動、トレーニングをしています。
3	保護者との関りや、困ったときなど、柔軟な対応ができること。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子を連絡帳、送迎時に伝え、保護者との信頼関係を深められるようにしています。 ・ご相談、悩みを聞き、ご協力できることは事業所でサポートをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に寄り添ったお話ができるように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・会社として行っているイベント以外に、市で行っているイベント等に参加はしているが、地域の方との連携ではイベントが少なく、交流する機会をつくるのが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経験の幅を広げるため、他の福祉事業や地域で行われるイベントなどに出かけて、積極的に地域との交流を図る。
2	・自立支援協議会などへの参加ができていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催時間が営業後のため、参加できる職員が少なく、参加調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できるよう、勤務形態を見直し、時間外でも参加しやすい環境づくりをする。
3	・室内で運動となると狭いこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的にスペースを確保するのが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びだけでなく、戸外で行える運動プログラムを考える。 ・安全に活動ができるように配慮をする。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティブスペースみらい万倍店		
○保護者評価実施期間	R6年10月1日	～	R6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R6年11月1日	～	R6年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	提供できるトレーニング数が多いこと。	・身辺自立から、相手との関り方など、経験のある職員がさまざまな角度から支援方法を立案し、活かせるようにしている。 ・同じトレーニングでも内容に変化をもたせ、飽きないように工夫をしている。	・支援記録を通じ、改善できる点を話し合い、より利用者が楽しめるようにしている。
2	利用者同士が仲が良く、良い関わりができていること。	・トラブルになっても、お互いに思ったことを言い合えるようにしており、すぐに解決できるよう仲立ちをしている。 ・また振り返りも大切にしており、自分の言動を振り返れるようにしている。	・年齢関係なく、楽しめる活動、トレーニングをしている。
3	保護者との関りや、困ったときなど、柔軟な対応ができること。	・日々の様子を連絡帳、送迎時に伝え、保護者との信頼関係を深められるようにしています。 ・ご相談、悩みを聞き、ご協力できることは事業所でサポートをしています。	・保護者に寄り添ったお話ができるように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流の機会が少ない。	・会社として行っているイベント以外に、市で行っているイベント等に参加はしているが、地域の方との連携ではイベントが少なく、交流する機会をつくるのが難しい。	・社会経験の幅を広げるため、他の福祉事業や地域で行われるイベントなどに出かけて、積極的に地域との交流を図る。
2	・自立支援協議会などへの参加ができていないこと。	・協議会の開催時間が営業後のため、参加できる職員が少なく、参加調整が難しい。	・参加できるよう、勤務形態を見直し、時間外でも参加しやすい環境づくりをする。
3	・ST等が勤務していないこと。	・応募が少なく、採用につながらない。	・会社として、積極的に採用する。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

実施期間R6年10月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	89%	7%	0%	4%	綺麗で、課題・活動するスペースを確保されている。	
	2 職員の配置数は適切である	86%	4%	0%	11%	適切だと思う。少ないと感じたことはないが、適切な人員がこちらでは把握できていない。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思う。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思う	93%	0%	0%	7%	動きやすく、周りの様子をよく見渡せる。ロッカーも個別で、入り口前にゲートがあり、飛び出さないよう配慮されている。新しい施設になってから中を見学したことがないため不明だが、子どもから不都合なことを聞いたことはない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思う。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思う	93%	4%	0%	4%	清潔で、木を使った落ち着いた空間で子どもも気に入っている。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思う	100%	0%	0%	0%	以前からの様子も知ってくださっているため、やる気の出させ方が上手い。特性に合った支援をしてくれる。子どもが通所することを嫌がったことがないので、先生方が子どもを理解して接してくださっていると感じる	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思う	100%	0%	0%	0%		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思う	100%	0%	0%	0%	親の思いや課題を元に作成されている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思う	100%	0%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思う	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思う	100%	0%	0%	0%	必要だと思う活動を毎回色々と考え、取り入れている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある	43%	4%	14%	39%	お祭りがあり、地域の方と交流する機会があった。必要性を感じない。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明があった	100%	0%	0%	0%			
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている	61%	4%	4%	32%			
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思う	100%	0%	0%	0%	お迎えの時に様子を教えてください。		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている	93%	4%	0%	4%	困りごとに助言をくださる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思う	100%	0%	0%	0%	温かく受け入れてもらっている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている	36%	11%	7%	46%	兄弟で参加できるイベントがあり、良い機会をいただきありがたかった。	また開催できるイベントがあればお知らせいたします。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	89%	4%	0%	7%	相談が必要になった際は、適切に対応して下さるのではないかと期待したい。困りごとに対して、〇〇してみます等対応して下さる。	相談や申し入れについては迅速かつ適切に対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思う	100%	0%	0%	0%	口頭・ライン等で情報伝達して下さる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%	ホームページ等できちんと発信されている。ホームページが見やすい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う	96%	0%	0%	4%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	85%	0%	0%	15%	色々な訓練を実施している。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている	78%	0%	0%	22%	色々な訓練を実施している。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思う	96%	0%	0%	4%	色々な訓練を実施している。	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思う	89%	0%	0%	11%	怪我・体調不良時には連絡をすぐにして下さる。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所している	100%	0%	0%	0%	とても気に入っている。事業所での生活にも慣れ、安心して通えるようになり、うれしく思っている。	今後も安心して通える環境づくり等していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%	みらいがある日だから学校に行くと言う日もあるぐらい楽しみにしている。	今後も楽しく通所いただけるよう、様々な活動を提案していきます。
	29	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	子どものことをよく理解した上での支援をして下さり大満足。課題だけでなく、家で中々できない工作等も頻繁に取り組んで下さりありがたい。子どもの様子を詳しく教えて下さったり、発達に合った課題や対応等を考えて下さったりして、とても感謝している。	いつも事業所での活動にご理解、ご協力くださりありがとうございます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

※児童発達支援

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

実施期間 R6年10月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応等
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	67%	33%	0%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	67%	0%	0%	33%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思う。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思う	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思う。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思う	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思う	100%	0%	0%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思う	100%	0%	0%	0%		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思う	100%	0%	0%	0%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思う	100%	0%	0%	0%		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思う	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思う	100%	0%	0%	0%		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がある	100%	0%	0%	0%		
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がある	100%	0%	0%	0%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	33%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている	67%	0%	0%	0%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思う	100%	0%	0%	0%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思う	100%	0%	0%	0%		

	チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応等
への説明等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている	67%	33%	0%	0%		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思う	100%	0%	0%	0%		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思う	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されている	67%	0%	0%	100%		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている	67%	0%	0%	100%		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思う	67%	0%	0%	100%		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思う	100%	0%	0%	0%		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所している	100%	0%	0%	0%		
	28 こどもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		
	29 事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

実施期間: 令和 6 年 11 月

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	スペースに限りがあるため、広く見せられるように工夫をしています。	レイアウト等を考え、不要なものを置かないようにしていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	100%	0%	0%		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている	100%	0%	0%		完全にバリアフリー化をしていないが、一人ひとりに配慮するように心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	83%	0%	17%		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	定期的な職員ミーティングを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向の把握、改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	0%	17%		今後の検討課題としています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	100%	0%	0%	毎月全員が研修を受けています。	
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されている	100%	0%	0%	ホームページに公開しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	ニーズを把握し、発達検査の結果や、他関係機関等と連携し、個別支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	100%	0%	0%		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	100%	0%	0%		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	ガイドラインに沿った支援計画を作成しています。	

	チェック項目	割合			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
主な 支援の 提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	職員がプログラムを立案し、全体で把握したり、修正しながら行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	日替わりでプログラムを作成し、個々の発達に応じた療育を実施し、固定化しないようにしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	100%	0%	0%	個々の発達に応じ、個別の課題や社会性の課題等を支援計画に取り入れ、作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	100%	0%	0%	毎朝職員で支援方法の確認等を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	支援の振り返りを行い、記録するとともに、次回の改善につなげています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	100%	0%	0%	概ね6ヶ月に1度、見直しを行っています。	
関係 機関や 保護者 との 連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や管理者等、適任者を選んで出席します。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	100%	0%	0%		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っている。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%	移行支援を行う際には、移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行っています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%		
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている	0%	0%	0%	28～30は、センターのみ回答	
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている	0%	0%	0%		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	0%	0%	0%		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けている	100%	0%	0%		相談支援事業所から、支援に関する助言等を受け、支援に活かしています。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がある	17%	0%	83%		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	送迎時や連絡帳を通して状況や課題を伝え合っています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	83%	0%	17%	保護者むけの研修は行っておりませんが、アドバイス等をお伝えするよう、心掛けています。職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設けています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に説明を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている	100%	0%	0%	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	希望に応じて相談を受け付けています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	67%	0%	33%	会社のイベントを通し、保護者が交流できる機会を設けています。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう心掛けています。苦情受付・解決担当者は利用契約書・重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	HPやSNS等で発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意している	100%	0%	0%	個人情報に記載された書類は、鍵付きのキャビネットに保管しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	83%	0%	17%	餅つき大会等を開催しています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	0%	職員会議にて対応方法の確認を行っていますが、必要に応じて見直しを行っていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	0%	契約時の書類にて把握しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	個別に対応をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	100%	0%	0%	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している	100%	0%	0%	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている	100%	0%	0%	報告書に記載し、職員間で共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	マニュアルを作成し、社内研修を行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	0%	児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解しています。また指針の作成や身体拘束適正化検討委員会の設置、委員会の開催をしています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

実施期間: 令和 6 年 11 月

事業所名 アクティブスペースみらい万倍店

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	0%	死角のないよう、職員が目が届くようにしています。	常に整理整頓を心がけ、スペースを広く使えるようにしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	配置基準以上の人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている	0%	0%	0%		完全にバリアフリー化をしていないが、一人ひとりに配慮するように心がけています。
業務改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	毎日の清掃、定期的な消毒を実施しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	33%	50%	17%		建物の構造上、個室を作るのが難しいです。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	83%	17%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	83%	17%	0%		
適切な 支援の 提供	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	0%		今後の課題としています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	100%	0%	0%	毎月研修を行っております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている	100%	0%	0%	職員がプログラムを立案し、全体で把握したり、修正しながら行っています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス	100%	0%	0%	日替わりでプログラムを作成し、個々の発達に応じた療育を実施し、固定化しないようにしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下	100%	0%	0%	個々の発達に応じた支援内容等を把握し、情報共有しながら設定をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	個々の発達に応じ、個別の課題や社会性の課題等を支援計画に取り入れ、作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	100%	0%	0%	毎朝職員で支援方法の確認等を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている	100%	0%	0%	適切な支援ができるよう、様々な活動に取り組んでいます。		

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や管理者等、適任者を選んで出席します。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	100%	0%	0%	半年に一度、見直しを行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	0%	50%		まだ移行した利用者がいませんが、必要に応じて情報提供等を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	17%	17%		児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携も必要に応じて行っていきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	0%	83%		今後の検討課題としています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	33%	0%	67%		今後の検討課題としています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	送迎時や連絡帳を通して状況や課題を伝え合っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	0%	保護者むけの研修は行っておりませんが、アドバイス等をお伝えできるよう、心掛けています。職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設けています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	希望に応じて相談を受け付けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	67%	17%	17%		会社のイベントを通し、保護者同士が交流できるよう企画をしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう心掛けています。苦情受付・解決担当者は利用契約書・重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	SNS等で発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	個人情報が記載された書類は、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	0%	67%		今後の検討課題としています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	マニュアルを作成し、社内研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解している。また指針の作成や身体拘束適正化検討委員会の設置、委員会の開催をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	個別に対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	報告書に記載し、職員間で共有しています。	